

2013年度

エコアクション21 環境活動レポート

活動期間(2013年5月～2014年4月)

2014年8月1日発行

株式会社RYU-SEI

目次

環境方針	3
ごあいさつ	4
事業概要	5
主な環境負荷の実績と環境目標	8
環境活動計画と取り組み結果と評価	9
社会貢献活動	10
環境関連法規の遵守状況	11
代表者による全体評価と見直し記録	12

環境方針

環境方針

当社は、一般廃棄物及び産業廃棄物の適正な処理(収集運搬)と、再生資源の有効利用により「人と自然と産業の共生」を求め、循環型社会の推進並びに地球環境の特続的發展に貢献します。

- (1)当社の事業活動において環境マネジメントシステムを構築運用し、継続的改善を行います。
- (2)当社の環境側面に関わる法規制及びその他の要求事項を順守すると共に、環境汚染の予防に努めます。
- (3)事業活動に伴う環境側面の中から次の環境目的・目標を定め、定期的に見直しを行います。
 - 1)電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - 2)自動車及び収集運搬車の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - 3)受託した廃棄物の再使用、再生利用の推進及び分別指導の実施
 - 4)一般廃棄物の削減(コピー用紙の削減)
 - 5)水資源の節水
 - 6)事務用品のグリーン購入
 - 7)社会貢献活動(ライフキャップ運動)の推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

制定：2011年11月1日

改訂：2014年8月1日

株式会社RYU-SEI
代表取締役 木下永績

トップメッセージ

ごあいさつ

当社は、昭和45年創業以来、40年以上、「サービス精神と礼儀」をモットーに、廃棄物の収集運搬サービスを主軸としてご提供し、これまでやって参りました。おかげさまで、排出事業者をはじめとする様々なお客さまのご支援のもとにご愛顧いただくことができ、誠に感謝いたしております。

現在は、地球温暖化対策や循環型社会構築など、地球規模での環境対策が必要な時代となってきておりますが、環境事業に携わる者として率先して自然環境に配慮した積極的な対応を講じながら、多種多様化するお客さまのニーズにお応えすべく、全社一丸となって邁進する所存です。

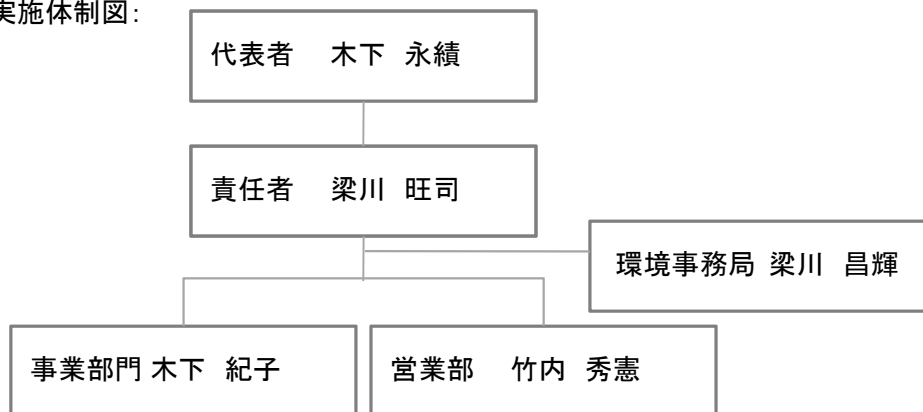
今後とも、ご指導、ご高配を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

株式会社RYU-SEI
代表取締役 木下永績

事業概要

事業概要

- 事業所名 : 株式会社RYU-SEI
- 代表者名 : 代表取締役 木下 永績
- 住所 : 【本社】
大阪府大阪市住之江区御崎5丁目10-9
TEL:06-6683-5090 FAX:06-6683-5091
【駐車場】
大阪府大阪市住之江区柴谷10-84
- 環境管理責任者: 責任者 梁川 旺司
担当者 梁川 昌輝
- 事業内容 : 一般廃棄物収集運搬業務、産業廃棄物収集運搬業務
- 設立 : 平成24年2月(創業昭和45年4月)
- 資本金 : 300万円
- 売上実績 : 8,250万円(2013年5月～2014年4月)
- 事業の規模 : 収集運搬量(産業廃棄物225t、一般廃棄物2,260t)
※算出期間: 2013年5月～2014年4月
従業員数 8名(2014年8月時点)
述べ床面積 本社70㎡ 駐車場227.05㎡
- 環境活動実施体制図:



事業概要

事業概要

許可・登録一覧表

1) 大阪市：一般廃棄物収集運搬業許可

許可番号：第003137
許可年月日：平成22年4月1日
許可の有効期限：平成28年3月31日
事業の範囲：一般廃棄物(ごみ)の収集・運搬

2) 大阪府：産業廃棄物収集運搬業許可

許可番号：02700165430
許可年月日：平成22年4月20日
許可の有効期限：平成29年4月19日
事業の範囲：汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、
動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、がれき類
(石綿含有産業廃棄物を含む) 以上13種

廃棄物収集運搬量

区分	種類	2009年度 (t)	2010年度 (t)	2011年度 (t)	2012年度 (t)	2013年度 (t)
一般廃棄物	一般ごみ	1,400	1,430	1,440	2,060	2,260
産業廃棄物	廃プラ類	95	85	72	80	120
	がれき類	30	22	18	20	15
	木くず	100	94	72	80	70
	ガラスくず	29	24	18	20	20
	合計	254	225	180	200	225

廃棄物処理料金 処理料金については、引き取り場所や品目などにより異なるため、その都度、お見積を算出し、ご提示しています。

事業概要

事業概要

【保有車両】

4tパッカー 1台
4tローリー 1台



3tパッカー 2台
3tローリー 1台
2t平ボディ 1台



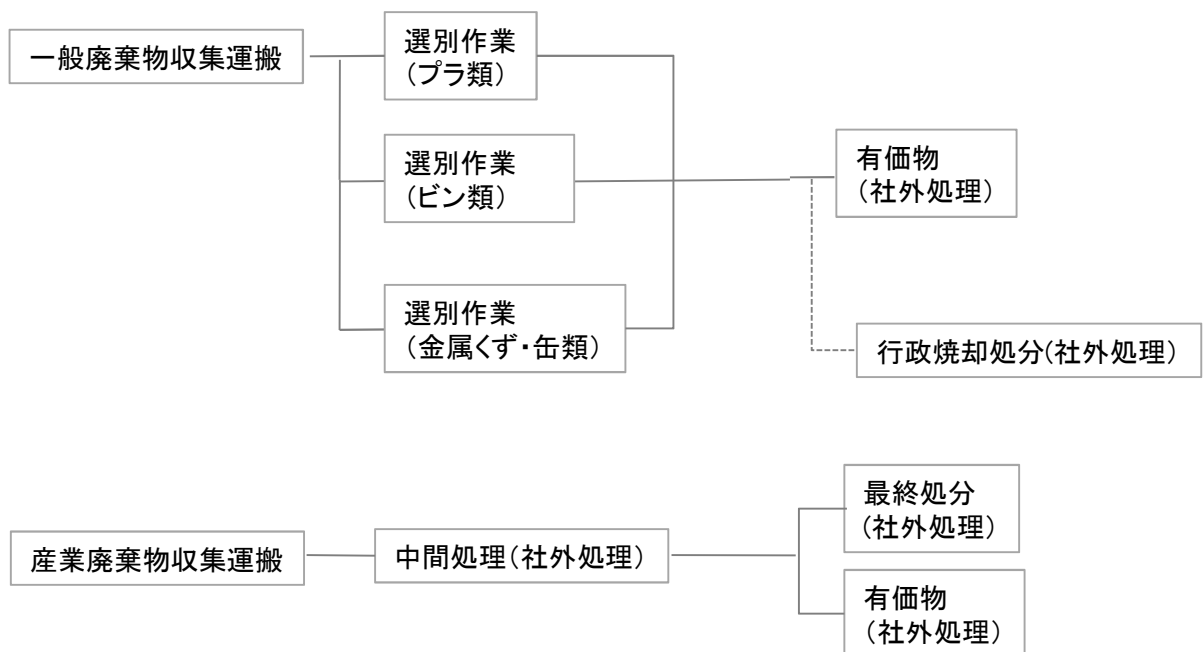
※ハイブリッド3tパッカー

軽自動車 2台(内1台営業車両)



※エコドライブ推進ステッカー貼付

【処理工程図】



主な環境負荷の実績と環境目標

主な環境負荷の実績

項目		2010年 (基準年度)	2011年	2012年	2013年
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	52,418	55,172	66,338	103,573
収集車両の燃費	km/L	—	—	—	—
自社の廃棄物排出量	kg	61	56	57	35
総排水量	m ³	139	134	79	107

環境目標

項目		基準値 2010年度	2013年度	2013年度	達成状況	2014年度	2015年度
		基準度	目標	実績		目標	目標
電力による二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	1,298	1,272	1,302	×	1,259	1,246
	基準年比		98%	102%		97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	51,120	50,098	102,271	×	49,586	49,075
	基準年比		98%	204%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	52,418	51,370	103,573	×	50,845	50,321
			98%	201%		97%	96%
収集車両の燃費(2014年5月～8月の4ヶ月平均)	km/L				—	3.71	3.74
	基準年比					100%	101%
一般廃棄物の削減(コピー用紙の削減)	kg	61	59.78	35	○	59.17	58.56
	基準年比		98%	58%		97%	96%
水資源の節水	m ³	139	136	107	○	135	133
	基準年比		98%	78%		97%	96%
事務用品のグリーン購入	—	グリーン購入に配慮	グリーン購入率50%超えを目指す	努力している	—	グリーン購入率50%超えを目指す	グリーン購入率50%超えを目指す
社会貢献活動の推進	—	社会貢献活動に参加	会社周辺の地域清掃の実施 イベント清掃等のボランティア参加	会社周辺の地域清掃の実施 イベント清掃等のボランティア参加	○	会社周辺の地域清掃の実施 イベント清掃等のボランティア参加	会社周辺の地域清掃の実施 イベント清掃等のボランティア参加

電力の二酸化炭素排出係数=0.355(kg-CO₂/kWh) ※2014年度から収集車両の燃費率を環境目標に追加

環境活動の取り組み結果と評価

環境活動の取り組み結果と評価

環境方針	項目	取り組み施策	取り組み結果と今後の方向(5月～4月)	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	冷房温度28℃設定とクールビズ運動暖房温度の20℃設定とウォームビズ運動 昼休みの消灯 不要照明の消灯 OA機器の省エネモード設定	省エネ対策への意識・考え方は社員に指導することにより、徐々にではあるが、削減することができた。 今後も継続して、電力量を削減する取り組みを継続する。	△
	燃料消費の削減	低公害・低燃費車の導入 エコドライブシールの貼付 アイドリングストップ 急加速の抑制 冷房の控えめ使用 買換え時は燃費マークを優先する	顧客数の増加、それに伴い、収集車両の増強、さらに収集エリア拡大により、使用燃料が大幅に増加した。毎月の営業会議で燃料効率、省略化できる収集ルートについて検討している。	×
一般廃棄物の削減(コピー用紙の削減)	事務所廃棄物の削減	分別ボックスの設置 裏紙使用 古紙のリサイクル化	おおかた、目標を達成することができた。継続して、意識づけを行い、協力を呼びかける。	○
水資源の節水	水道水の削減	洗浄工程の改善 手洗い水量の適正化	社員の手洗いや車両の洗車など、必要なときに集中して実施することで、無駄な使用量を削減することができた。	○
事務用品のグリーン購入	グリーン購入の拡大	エコマーク付きコピー用紙の購入 エコマーク付きファイリング等の文具用品の購入	消耗品等の購入機会が少なかったが 今後は購入時にエコマーク付きの商品を優先的に購入する。	—
社会貢献活動の推進	社会貢献活動	地域美化活動・清掃活動 対暴力団の不当要求防止活動への参画	社員とともに、代表者も参加し、地域の美化・清掃活動を実施。 また、代表者自ら、暴力団対策として大阪府警からの要請で、講義活動を実施した。 あと、大阪マラソン時のごみ収集ボランティアや、ライフキャップ運動への協力など、社会貢献活動に積極的に取り組んでいく。	○

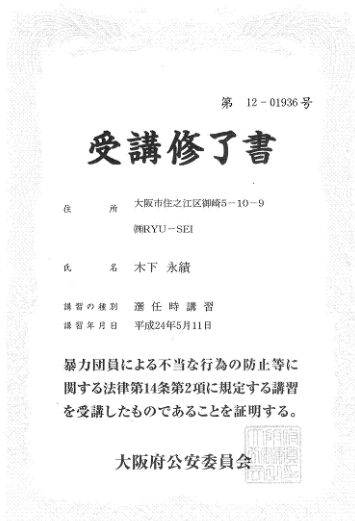
社会貢献活動

社会貢献活動

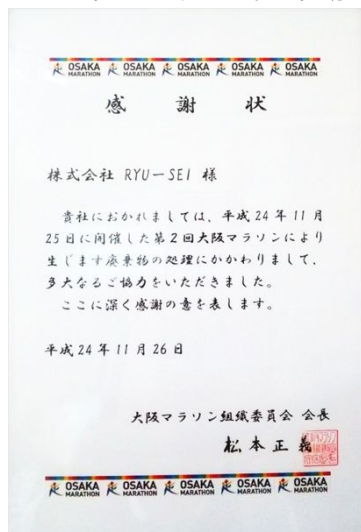
地域清掃活動の様子



対暴力団の不当要求防止活動への参画



地域イベント「大阪マラソン」のゴミ回収ボランティア活動



大阪の街をよくする基金 ライフキャップ運動



大阪の街をよくする基金 ライフキャップ運動

みなさまにご協力いただいで得た収益金を、自分たちの街のために、自分たちの人のために、大阪が豊かになるように効果的に活用いたします。活用方法についても、広くみなさまと相談しながら活用していきたいと考えています。



環境関連法規の遵守状況

遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等)の取扱い
家電リサイクル法	洗濯機、冷蔵庫、エアコン、テレビの廃棄物処理
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
NOx・PM法	排気ガス規制に適合した自動車の使用
大阪府条例	流入車規制に適合した自動車の使用
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正廃棄及び処理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

代表者による全体評価と見直し記録

代表者による全体評価

項目	見直し内容
環境方針	再生・再利用部分に、排出元への協力依頼として、排出時のごみの分別指導を行い、資源の有効活用を積極的に取り組んでいく。
環境目標	今後も、顧客数の増加、車両の増加、人員の増加など、使用する燃料が増える要素が多いため、環境目標のなかでも使用燃料について、現在の総量の削減率での評価ではなく、「売上高／使用燃料量」「燃費計算」などの新しい目標指標を設定し、導入は今年度から、評価することを検討したい。
環境活動計画	事業活動が忙しくなれば、それに比例して使用する燃料も増えてますが、その中でも高効率なルート及び燃費向上の運転方法などを模索しながら、目標数値達成に向けて動いていきましょう。 より多く、スタッフとの会議数を増やし、営業目標を環境目標の両方の評価をクリアできるように追及していきたい。
社会貢献活動	地域清掃以外に、大阪マラソン時のごみの収集ボランティアや、ライフキャップ運動の参加など、より積極的に、社会貢献活動に取り組んでいく。
その他	使用燃料削減に向けて、来年に、ハイブリッド型のパッカー車両の導入を検討しておりその導入により、少しでも使用燃料を削減し、間接的に排出する二酸化炭素量を削減できるように、試行錯誤していきたい。 また、使用量の削減は売上に比例することから、次年度からは、燃費率の向上を環境目標に設定し取り組んでいく。